

2024年2月発行(年3回)
通巻131号

建設雇用と改善
TOKYO

2024・2
No. 131

都内の建設業に働く人の「雇用・労働・安全」関係の情報誌【テラ】

Terra

Employment & Improvement of the Construction Corporations



事故・災害防止は細かな気づきから

小石川地方合同庁舎(仮称)(22) 建築その他工事

〔建築・EV=東急建設(株)東日本建築支店、電気=栗原工業(株)東京本店、機械=川崎設備工業(株)東部支社〕

みらいをつくる 建設×女性力

石橋花緒さん
〔佐藤興業株式会社〕

明日を担うづくり

力丸建設株式会社
(とび工事一式など)

これだけは知っておきたい

「外国人材」はいま

■ 現場で使える天気予報
■ News Digest

■ TOKYO 名所ウォーキング
■ 東京労働局からのお知らせ



完成予想パース

現場訪問
あんぜん
最前線

小石川地方合同庁舎(仮称) (22) 建築その他工事

施工場所 ▶ 文京区後楽1丁目7番22

発注者 ▶ 国土交通省関東地方整備局

設計者 ▶ (株)安井建築設計事務所

工事監理者 ▶ 日和エンジニアリング(株)

施工者 ▶ 建築・EV＝東急建設(株)東日本建築支店、電気＝栗原工業(株)東京本店、
機械＝川崎設備工業(株)東部支社

工期 ▶ 2022年11月9日～2027年1月15日(建築・EV)
2023年4月10日～2025年10月31日(電気、機械)

規模 ▶ 鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
地下2階地上5階建て 延べ床面積約9,437㎡

事故・災害防止は細かな気づきから



①完成予想パース(合築する認定こども園の園庭側から)

国土交通省関東地方整備局は小石川地方合同庁舎(仮称)の新築事業を進めている。老朽化、耐震性能不足、狭あいなどの問題がある小石川税務署と新宿地方合同庁舎、民間ビルを間借りしている自衛隊東京地方協力本部台東出張所の機能を集約立体化し、文京区の認定こども園と清掃事務所も合築して整備を行う。周辺を住宅や教育施設、公園に囲まれた狭あいの環境であり、近隣への配慮が欠かせない。厳しい施工条件の下、地域住民の日常生活と安全を最優先にしながら、事故や労働災害の防止に奮闘する現場の取り組みを追った。

小石川地方合同庁舎（仮称）は旧労働会館の跡地を利用して新築する。国の文化財（特別史跡、特別名勝）に指定されている小石川後樂園の向かいに位置し、周辺には集合住宅をはじめ東京都の特別支援学校や文京区の幼稚園などが立ち並ぶ。工事は2023年1月に旧労働会館の地下躯体の解体からスタート。同年11月現在の進捗率は9%で、旧労働会館の地下躯体の外周を山留めとして残しながら、一次根切りに着手していた。

粉じん対策・第三者災害防止を徹底

現場代理人を務める東急建設（株）の吉海亨さんよし がいとおるによると、工事で発生する粉じんが周囲に飛散しないよう細心の注意を払っているという。定期的な散水や出入りする工事車両のタイヤ洗浄を徹底。とりわけ旧労働会館の地下躯体を解体する際に繰り返し散水を行い、大きな音が出る鉄骨の切断作業は事前に住民へ工程表を配布して理解を求めた。

現場が唯一面する道路は外堀通りと都道434号線をつなぐ抜け道となっており、幅の割には交通

量が多い。そこで接触事故の防止とスムーズな交通の確保のために、工事車両の左折での入退場をルール化。工事車両は原則外堀通り側から入場し、退場の際は都道側へ向かうよう指導している。



🔴粉じんの飛散を防止するため散水が欠かせない



🔴場外に出る工事車両のタイヤ洗浄を徹底



🔴現場全景。地下躯体の構築に向けて一次根切りを実施していた

現場+個人の対策で 熱中症予防

2023年が記録的猛暑だったこともあり、熱中症対策には万全を期した。休憩場所に送風機やミストを配置し、冷水器や製氷機も用意。特に効果が実感できたのはファン付き作業着。作業員の多くが着用するなど、一人ひとりが意識的に熱中症対策に取り組んで予防に努めた。



熱中症を防ぐため休憩スペースに送風機や冷水器を配置



過去の経験と教訓を胸に

吉海さんは安全管理の基本を「作業員とのコミュニケーション」だと強調した。連絡事項の確実な伝達はもちろん、「普段の会話から気付けることが多い」ためだ。また、「事故は何か変化がある時に起こる」と、過去の体験を語ってくれた。

当時、現場で作業の変更があったものの、周知が不足していたことから情報が共有できず事故を発生させてしまった。その教訓から、新しい作業に入

る際は職種ごとにリスクアセスメントの周知会を行うなど連絡を密にし、変化を見逃さないよう常に気を配っている。

さらに、施工ヤードではさまざまな業種の作業員が従事するた

め、作業スペースの区画管理も重要だ。カラーコーンなどで作業エリアを区画割りし、その範囲内で作業するよう義務付けている。周知を徹底した甲斐もあり、作業員の中に順守の意識が浸透しているという。

施工ヤードの奥まった位置に休憩所を設けており、施工ヤードと分離した専用の安全通路を設けて交錯しないよう工夫を凝らした。安全通路から現場に降りる階段には「ヘルメット着用」の看板を立てて注意喚起している。

2024年2月からは躯体構築に入り、別途発注の設備工事の施工者とも強固に連携しながら階層を積み上げていく。庁舎自体は2025年10月に完成する予定だが、その後も合築する認定こども園の園庭整備工事が2027年1月まで続く。

「安全管理は現場管理者の使命」。吉海さんの眼差しは竣工までの無事故無災害を見据えていた。



現場代理人兼監理技術者の東急建設(株) 吉海亨さん



安全掲示板。横断幕も掲げて声掛けの大切さを説いている



過去の災害事例や現場内のルールを休憩所にも掲示して周知



建設キャリアアップシステム (CCUS) の顔認証システム



近隣に作業日程などを伝える仮囲いのデジタルサイネージ



↑作業班ごとに作業スペースを区画



↑安全通路から作業エリアに至る階段前に「ヘルメット着用」を大きく標示

現場で働く人々



(株)浦山工務店 **飯村 正和さん** 解体工
(いいむら・まさかず)

『解体は散らかしている』というイメージを持たれないために、いつもきれいな状態で次の作業員に引き渡すよう心掛けています。仲間の変化に気づけるよう、チェックリストを参考に体調管理などに取り組んでいますし、何よりコミュニケーションが不足しないよう注意しています。



ジェコス(株) **坂本 航太さん** 山留工
(さかもと・こうた)

周辺への配慮のため、出入りする工事車両のタイヤ洗浄などを徹底しています。ここで『工事させてもらっている』という気持ちを忘れません。労働災害を防ぐためにも作業は重機の性能の80%で行うようにし、進捗管理などもしっかりと相談しながら対応しています。

関都建設(株) **池尻 誠さん** とび工
(いけじり・まこと)

高所作業が始まれば、外から見るととび工は現場の顔。丁寧に仕事をする意識は欠かせません。仲間にフルハーネスの装着と安全帯の2丁掛けを指導することが私の責務です。事故の予兆を見落とさないよう常に注意を払い、作業員の表情を見ながら積極的にコミュニケーションを取っています。



～みらいをつくる～ 建設×女性力

〈塗装工事〉
佐藤興業株式会社(千代田区)
石橋花緒さん
(いしばし・はなお)



夢は全国大会の上位入賞と女性職長

工業高校在学中にゼネコン主催の技能体験会に参加。さまざまな職種が並ぶ中から、「塗装」を選んだ。その体験を通じ、「いくつもの工程を経て完成する塗装という仕事に、大きな魅力を感じた」という。卒業後、迷わず佐藤興業の門をたたいた。

入社してすぐの現場では、外壁用のローラーを使って壁面に細かな模様をつくる、単層弾性仕上げを担当。「職長のローラーさばきを、暇さえあれば見てまねていた」。指導も受けつつ徐々に技術を習得。その甲斐あって、別の現場で同様の作業を任された時には、身に付けた技で満足のいく出来栄えに仕上げた。自らを「見て覚えるタイプ」と、分析する。

当面の夢は、全国建築塗装技能競技大会(隔年開催)に出場し、上位入賞すること。大会は合計7時間30分の時間内に、フリーハンドで塗装する課題を含む4つの作品を仕上げるという難しい内容。全国の猛者が集結し、日本一の職人を決定する。わずかなミスも許されない、緊張感みなぎる大会だ。実は、昨年10月に開かれた大会に、1つ年上の女性の先輩が出場した。東京代表として女性が参加するのは初。見ていて「私も参加したい」と思った。「そのためには、まず、はけさばきを完璧にしないと。技術を極めて、次回大会への出場を目指したい」。



養生作業を進める石橋さん

入社して4年目。「将来は、職長を目指す」とも。そのときは、「事業主から、あなたにこの現場を担当してもらいたいと、指名を受けるような存在でありたい」と話す。

昨年担当したタワーマンションの現場では、「職長の仕事の内容を早めに知るチャンス」と考え、女子部のリーダーに就任。皆で話合った結果、女性目線で女性用休憩室を使いやすくしたり、安全帯用のフックや荷物置き場も付けてもらったりした。こうした活動が認められ、第3回CCI東京の建設業若手・女性活躍大賞を受賞した。

2年後には1級塗装技能士の受験資格を得る。さまざまな目標に向かい、今日もはけを握る。



塗装作業時は手元に集中

現場で使える天気予報

第15回

凍結による転倒が増えるこの時期 注意すべきポイントや対策方法を解説

株式会社ライフビジネスウェザー 気象予報士 長谷川 亮太 (はせがわ・りょうた)



冬の時期は都心でも最低気温が0度を下回り、作業現場や路面の凍結リスクが高まります。

特に晴れて地面付近の熱が宇宙空間に逃げやすい「放射冷却(図1)」の生じる日は、夜間に急激に気温が下がるため、注意が必要です。さらに、風が弱いと冷気がたまり気温が低くなります。

図1 放射冷却とは



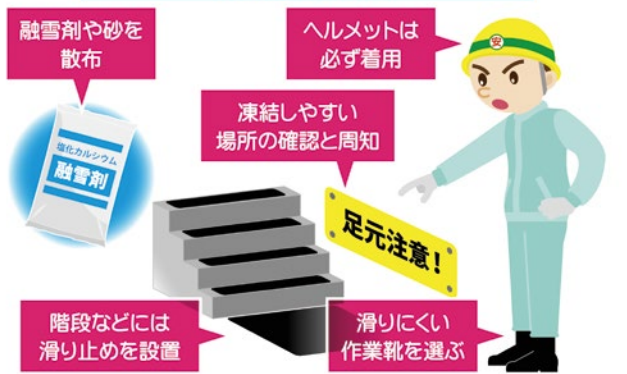
また、その他にも日本から見て西の大陸側に高気圧、東の海上に低気圧が位置する西高東低の冬型の気圧配置になると、北風が強く吹くことで気温が急激に下がることもあります。

このような時期は凍結による転倒事故に注意が必要です。

厚生労働省の令和4年労働災害統計によると建設業全体で「転倒」による死傷災害は1,700件以上発生しており、作業現場の安全を確保するために対策が重要とされています。この時期に転倒の原因となる凍結が発生する気温の目安を確認してみましょう。

一般に「明日の予想最低気温が5度」といった場合は、地上1.25~2.0mの大気の温度が5度となることが想定される状況を指します。ただし、冷気は重く、下にたまりやすい性質があるため、実際凍結

図2 凍結の対策方法



の起きる地面付近の気温は予想よりも低くなり、0度を下回らなくても凍結するリスクがあります。その目安としては3度程度と言われていて、日々の天気予報をしっかりと確認する必要があります。代表的な凍結対策(図2)をご紹介します。

- 作業現場や駐車場、出入り口などの凍結しやすい場所や滑りやすい場所をあらかじめ確認する
- ヘルメットは必ず着用する
- 滑りにくい作業靴を選ぶ
- 凍結しやすい道路には融雪剤や砂などを散布する
- 凍結しやすい屋外の階段には滑り止めを取り付ける
- 冷える時間帯に水をまかない

気温の低くなる朝晩を中心に凍結への注意が必要ですが、日陰や構造物の隙間などでは、日中も溶けない所があるため、対策が必要になります。また、本州の南岸を低気圧が通過する場合は、東京都心など普段雪の降らない地域でも積雪となることがあります。作業現場で雪下ろしをする際には、墜落や転落の可能性もあるため、一人で作業せず声を掛け合いながら行いましょう。

冬期は日々の天気や次の日の最低気温を必ず確認するようにしてください。

新卒採用軸に 会社を**変革** 明日を担う人づくり

「建設業の人手不足が深刻化する中、同業者同士で転職者を取り合っている問題も解決しない」。首都圏で建築の躯体工事を手掛ける、とび工事業の力丸建設（江戸川区）の力丸利社長はそう判断し、高校新卒者の採用に乗り出した。『建物を造るまえにひとをつくる』を新たに経営理念に掲げ、研修制度などを整備するとともに、給与制度の改正にも踏み込んだ。新卒者が入ることによって、現場でのルールの順守やチームワークの強化など、社員の意識にも変化が生まれている。



力丸社長

新卒採用のポテンシャル

同社は2003年、力丸社長自ら社員3人で設立した。それ以来、徐々に社員数を増やしてきたが、受注する工事量に対して、慢性的に人手不足を感じてきた。採用方法は創業以来、経験者の中途採用だった。

新卒採用を考えるきっかけになったのは、栃木県の工業高校の先生から話があって卒業生を受け入れたことだ。その若者は、教えたことを素直に、スポンジが水を吸うように吸収した。仕事に対して固定観念を持っている中途採用の経験者ではそうはいかない。「うまく育てれば会社が成長できる」と、新卒採用のポテンシャルを実感した。

100校を訪問

2018年春、2019年4月の新卒採用に向けて活動を本格的に開始した。まず取り組んだのは、全国の工業高校の先生への訪問だ。企業として認知度がただけでなく、とび職というだけで、「やんちゃ」という悪いイメージを持たれている。そんなイメージを払拭し、仕事の内容や会社を先生に知ってもらうためだ。社長自ら約100校を訪れた。

門前払いされるようなこともあったが、その年、7人の応募があり、翌2019年4月に5人の若者が入社した。

学校訪問は現在も続けている。2025年春に卒業する現在の2年生の採用に向け、2024年1～2月に、



東北と九州を中心に延べ22日間で108校を訪れる予定だ。学校訪問は1回だけでない。生徒が3年生になった5～6月にも訪れ、学校によっては、求人票が生徒に公開される7月以降も訪問する。また、訪問する際は、進路指導の先生より、生徒により近い立場にいる担任や専門学科の先生に会うようにしている。

月給制を導入

だが、少子化によって人材獲得競争が激化し、多くの企業から高校生に求人が集まる中、生徒に選ばれる「最低限の土俵」にのるためには、先生に会社を知ってもらうだけでは足りない。生徒の保護者にも認められる企業になる必要がある。そこで、新卒採用活動に合わせ、資本金を5,000万円から1億円に増資した。また、会社を有限会社から株式会社に移行した。

さらに、新入社員の収入を安定させるため、給与を月給制にした。既存の社員に対しては、月給か、従来の日給月給かを選択できるようにした。加えて、週休2日の確保にも乗り出したところだ。

会社のホームページも、新卒採用に向けて改善した。仕事の内容を伝えるほか、同社で実際に働く若者を、本人の声を交えて紹介する。「誰と働くかを知ってもらうことが重要」だと考えたからだ。

平均年齢28歳に

これらの取り組みの結果、採用枠を超える応募が毎年あり、2019年以降これまでに24人の新卒者を採用した。8人が離職したが、16人が仕事を続けている。2024年4月にも4人の入社が内定している。同社の社員数は現在37人で、平均年齢は28.3歳という若さだ。

入社後の研修・教育制度も整備した。入社後、8月のお盆前までは、5月～7月初めの現場でのOJT研修期間を挟み、富士教育訓練センター（静岡県富士宮市）で研修を行う。また、12月までの間、月に1回、新入社員を集めて力丸社長が面談し、現場での仕事や先輩とのコミュニケーションなどについて



④ OJT研修で足場を組み立てる新入社員



⑤ 作業前に先輩社員から仕事の段取りについて説明を受ける新入社員（手前）

聞く。さらに、新入社員と先輩社員とのパートナー制度も導入した。

先輩社員の意識も変化

こういった取り組みを通じて、これまでになかった変化が社内に生まれている。先輩社員の間に、率先して若手を育てようという意識が広がった。また、ルールを順守する社員が増え、ここ2年以上、労働災害ゼロを継続している。そして、全員がチームワークを意識するようになり、作業効率が上がり、生産性が高まった。

これらの変化は、同社が行動指針に掲げる『次に繋がる現場施工力』を支える。実際に、取引先や現場から、以前より高く評価されるようになり、新たな工事の受注にもつながっているという。

力丸社長は、人材育成に関する今後の課題として、数値化による客観的な人事評価制度の構築を挙げる。また、新卒採用の対象を2023年度から大卒者にも拡大しており、現状では実績がないが、今後もアプローチを継続していく方針だ。

力丸建設株式会社

会社概要

住所 ● 東京都江戸川区平井5-21-3

創業 ● 2003年

事業内容 ● とび工事一式（鉄骨建方工事、揚重機工事、プレキャスト工事、仮設工事）、不動産売買・賃貸

資本金 ● 1億円

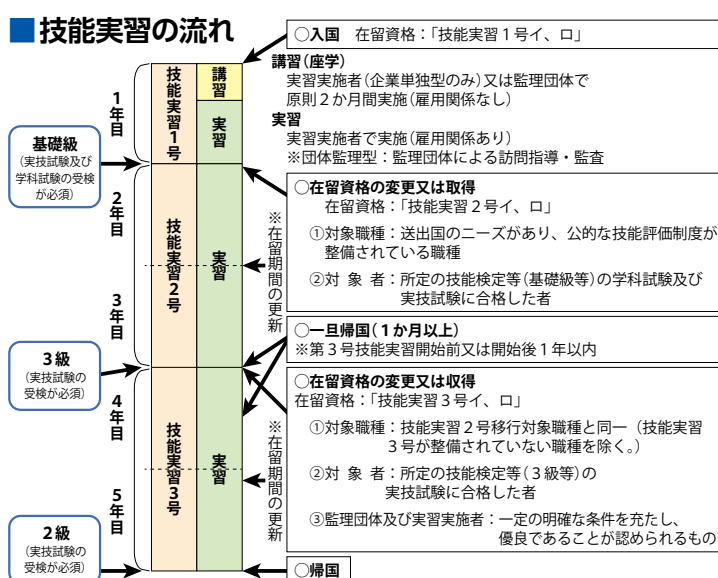
知っただけは っておきたい…外国人材

「外国人材」はいま Terra編集部

多くの産業が人手不足の問題を抱えています。建設業もその一つであり、1990年代から担い手の確保・育成を図るため、若者はもちろん、女性にも働きやすい環境を整えるなどして入職促進に取り組んできました。その中で増えてきたのが外国人材。国の有識者会議が2023年末に新制度の創設を打ち出しており、国内人材とともに建設業を支える仲間として今後も増えそうです。外国人材に関するこれまでの経緯や直近の動きを整理してみました。

技能実習は国際貢献

外国人材を巡る仕組みには技能実習制度があります。開発途上地域などの人たちに、日本が培ってきた技能や技術、知識を身に付けてもらおうと1993年に創設されました。技能実習生としての在留資格の下で企業や個人事業主などと雇用関係を結び、最長5年の滞在期間に技能などの修得(1年目、技能実習1号)と習熟(2〜3年目、技能実習2号)、熟達(4〜5年目、技能実習3号)に取り組んで母国に帰り、現地の経済発展にその力を発揮してもらう流れです。目的は人づくりによる国際貢献。技能実習生の転籍は原則として認めておらず、企業なども技能実習生を労働力の需給調整の手段にしてはならないことになっています。



復興、五輪へ緊急措置

建設業の技能労働者は1997年の455万人をピークに減少をたどり、2009年には350万人を割り込みました。建設投資の減少や高齢者の増加、進めぬ処遇改善が原因とされ、人手不足が顕在化する中で、2011年3月に東日本大震災が起こって復旧・復興への対応が急務となりました。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた施設整備も進めなければならませんでした。

このため国はこれらの一時的な建設需要に対応した労働力が必要と判断。国内人材の確保を基本に置きつつも、外国人材の活用にかじを切ります。時限付きで2015年度初頭から外国人材の受け入れを拡大する緊急措置「外国人建設就労者受入事業」で、技能実習の修了者に技能実習とは別の在留資格を与えて滞在期間を2年延ばしたり、既に帰国した修了者が再入国して最長3年滞在することを認めたりして、即戦力になってもらう内容でした。最終的に2022年度まで実施されました。

特定技能がスタート

ただ、建設業に限らず人手不足が深刻な状況に変わりはないことから、国は2018年に入管法を改正して外国人材の正式な活用に取り出します。その時できたのが特定技能外国人制度。相当程度の知識または経験を持つ

外国人材を、国内人材の確保が困難な建設業などの産業分野に労働者として受け入れるための仕組みです。

特定技能外国人(特定技能1号)になるためには一定レベルの技術評価や日本語の試験にパスしなければなりません。技能実習の修了者(技能実習2号、3号)は免除され、通算5年の在留資格を得ることができます。さらに職長などの経験を積んで、よりレベルの高い技術評価などの試験に合格すれば、在留期間の更新に上限がなく、家族も帯同できる立場(特定技能2号)

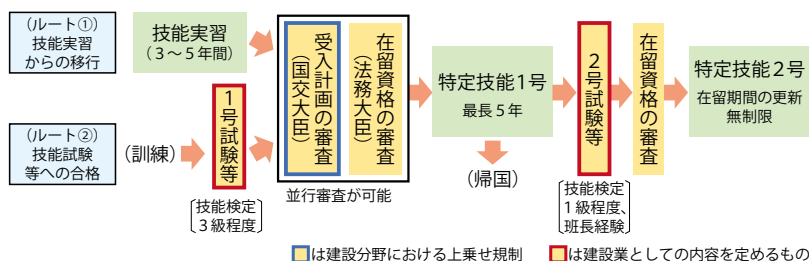
へのステップアップも可能です。多くの手続きを踏む必要があるものの、一定条件の下で転籍できます。

建設分野では2022年4月に初めて特定技能2号の認定者が誕生しました。

■建設分野における「特定技能1号」の在留資格の取得方法

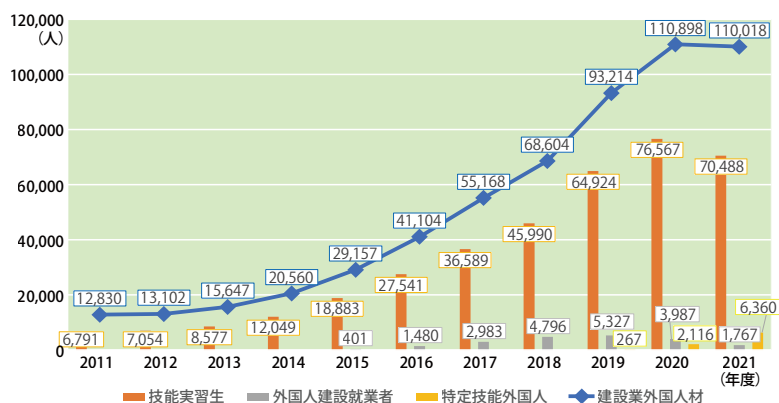
以下の2ルートのいずれかにより、「特定技能1号」の在留資格を得ることが可能。

- ①技能実習2号を良好に修了(又は技能実習3号を修了)
- ②以下の試験の両方に合格
 - (a)技能評価試験:「技能検定3級」又は「建設分野特定技能1号評価試験」
 - (b)日本語試験:「国際交流基金日本語基礎テスト」又は「日本語能力試験(N4以上)」



11万人が活躍

■建設分野に携わる外国人材の推移



建設分野のここ十数年の外国人材の推移を見ると、2011年度の約1万2,000人から2014年度には2万人を突破。2016年度に4万人台に乗り、2017年度と2018年度はそれぞれ1万人以上増えて、2019年度には9万人を超えました。外国人建設就労者受入事業が始まった2015年度以降の伸びが著しく、2021年度の段階で技能実習生約7万人、外国人建設就労者約1,700人、特定技能外国人約6,300人などで合計約11万人が活躍しています。

「育成就労」の新制度創設へ

外国人材にスポットライトが当たる反面、とりわけ技能実習制度については、実態として人手不足を補う手段になっているのではないか、転籍を認めないことが人権侵害に当たるのではないかといった課題が指摘されてきました。賃金の不払いなどが原因とされる技能実習生の失踪が後を絶たず、2021年には1年間で7,000人超の行方が分からなくなりました。残念ながらその半数以上に当たる約3,800人は建設分野からでした。

そこで国は2022年12月に有識者会議を立ち上げて、技能実習制度などの今後の在り方をおよそ1年をかけて検討。2023年11月の最終報告で技能実習制度を発展的に解消し、人材が不足する分野の「人材確保」と、3年の就労を通じた特定技能1号レベルの「人材育成」を目指す新制度の創設を打ち出しました。同じ受け入れ機関での就労期間が1年を超えていれば、本人の意向による転籍を認める一方、人材流出を懸念する地方・中小零細企業の声に配慮して、分野によってはより長い期間の設定を認めるなど経過措置を検討することも国に求めています。名称案は「育成就労制度」。今後、関連法案が国会で審議される見通しで、新制度のスタートも遠くはなさそうです。

国内人材に対する施策を積極展開しつつ、外国人材のより活躍できる環境を整えることが、人口減少社会を迎えた日本と建設業の持続的な成長につながるのではないのでしょうか。

再開発で大変貌 東京都心の 新しい街 を見にゆく

東京まち歩きライター

鈴木伸子 (すずき・のぶこ)

文筆家・東京まち歩きライター

雑誌「東京人」の元副編集長。

日々東京を徘徊中、執筆中。女鉄道マニアの修行中でもある。

著書に『シブいビル』、『山手線をゆく、大人の町歩き』など。

2023年は数々の大規模再開発が完成し、都心各地にいくつもの新たな街がお目見えした年だった。

東京駅八重洲口に3月にグランドオープンしたのは「東京ミッドタウン八重洲」。八重洲地区では、高度経済成長期に建設されたオフィスビルの再開発が進んでいるが、その中でも象徴的な大型プロジェクトとして逸早く竣工したのが「ミッドタウン」だ。

注目されたのは、ビル内にラグジュアリーホテルであるブルガリホテルと、中央区立城東小学校という施設が同居しているという点だが、それ以外にも地下2階には長距離バスターミナルが整備され、東京駅前という立地を見込んだ企業テナントも数多く入居。巨大なビルは、八重洲地区と京橋地区とをつ

なぐ役割も担っている。

八重洲の隣り合う街区では今も複数の超高層ビルの建設が進んでいるが、その狭間にはまだ昭和の香りのする路地や居酒屋、飲食店の並ぶ界限も見られ、そんなコントラストを味わう町歩きを楽しむこともできる。

新宿では、歌舞伎町が一新。
西口駅前の昭和の風景も変わる。

一方で新宿歌舞伎町に4月にオープンしたのは地上48階地下5階の「東急歌舞伎町タワー」。大型映画館のミラノ座跡などを再開発して建設された超高層ビルは歌舞伎町の中心にそびえ立ち、山手線の車内からも見えて目を引く。湧き上がる噴水をイメージしたという外観は注目の建築家・永山祐子のデザインによるものだ。

ビル内には映画館、劇場、ライブハウス、レストラン、2つのコンセプトの異なるホテルなどが入居し、超高層だがオフィステナントは入らないエンターテインメントに特化したビルという点が特徴だ。

建物前の広場に集う少年少女たちや、歌舞伎町界限のホストクラブは社会問題にもなっているが、そんな界限でもこのビルは外国人観光客やエンターテインメントを求める人たちで日々賑わっている。

同じ新宿の駅西口で進んでいるのは小田急百貨店新宿本店ビルの建て替えと新宿西口広場のリニューアル。小田急百貨店跡は今後地上48階地下5階の建物として2029年度竣工予定。今まで長年慣れ親しんできた駅前の風景や西口の駅構内が変わりつつあることには寂しさを感じる。

オフィス街だったエリアが
ショッピングや飲食も楽しめる街に。

昨年秋に港区内に相次いでオープンしたのは虎ノ門ヒルズステーションタワーと麻布台ヒルズ。虎ノ門ヒルズは、その中核となる森タワーが2014年に



①東京ミッドタウン八重洲



②東急歌舞伎町タワー



③タワー前の広場にかつてあった噴水のイメージを取り入れたビルデザイン



④新宿駅西口では、小田急百貨店本店の解体が進む



④ 計4棟の超高層が並び、虎ノ門ヒルズの完成となった



① 虎ノ門ヒルズステーションタワー



② 日比谷線虎ノ門ヒルズ駅には広大な駅前広場が設けられている



③ 麻布台ヒルズの象徴は、イギリス人デザイナー、ヘザウィックの作品



⑤ 緑の広場を中心に各施設が広がる麻布台ヒルズ

開業し、その後レジデンシャルタワー、ビジネスタワー、そして地下鉄日比谷線の虎ノ門ヒルズ駅や、湾岸部までつながる環状2号線道路と、交通インフラも整備しながら徐々に全容を整えてきた。

虎ノ門ヒルズ駅は2020年に暫定開業していたが、ステーションタワーの竣工に合わせ、地下鉄でありながら地上から自然光の入る広場のある駅が本格開業した。ヒルズ内には数多くのショップやレストランも並び、ビジネス以外の目的でここを目指してくる人たちが増えそうな予感がする。

もう一つのヒルズ、麻布台ヒルズは地下鉄神谷町駅と六本木一丁目駅の間の谷合いの住宅地だった地区約8haの土地を35年がかりで再開発したというプロジェクト。緑の広場を取り囲む、住宅やインターナショナルスクール、ホテル、医療施設、オフィス、マーケットなどの新しい街が誕生。街のコンセプトはグリーンとウェルネスで、ここにも数多くのショップやレストラン、ギャラリーやミュージアム、パブリックアートが設けられているので、新たな都心の集客施設としても賑わいそうだ。

2023年末、渋谷駅前にオープンしたのは桜丘地区の再開発エリア、渋谷サクラステージ。

桜丘地区は駅前でありながら、交通量の多い国道246号で駅側と隔てられていた。再開発に際し、JR渋谷駅に新たに桜丘口が設けられて(2024年秋オープン予定)、駅直結となり、一気にこの地区の利便性は向上しそうだ。

以前は坂道と路地が入り組んだ界隈に飲食店など

が並び昭和の街並みという風情だったが、エスカレーターなどでエリア内を行き来できるようになり、恵比寿や代官山方面へのルートとしても便利になった。

この10年ほどの間、渋谷はIT企業の集積地として発展してきたが、オフィスの絶対的な床面積不足という状況が続いていた。渋谷ヒカリエに続いて渋谷スクランブルスクエア、渋谷ストリームなど駅前の超高層の完成とともにその状況も変わってきたが、渋谷サクラステージの開業は駅前立地の新たなオフィスの供給とともに、渋谷の街にさらなる回遊性をもたらしてくれそうだ。



④ 渋谷駅前の動線を一新させつつある渋谷サクラステージ



① エリア内の中心に位置する渋谷SAKURAテラス



⑤ 映えそうなスポットが何カ所も用意されている

東京労働局長が 安全衛生パトロール

2023年12月

厚生労働省東京労働局の美濃芳郎局長＝写真中央＝は2023年12月5日、江東区豊洲2丁目にオフィスを中心とした複合施設を建設する「(仮称) 豊洲4-2街区開発計画A棟/B棟新築工事」の安全衛生パトロールを実施しました。建設業労働災害防止協会東京支部の松井隆弘支部長とともに、現場内の要所を回って安全衛生管理の状況を確認。現場作業者を激励するなどして無事故無災害を呼び掛けました。

年末・年始SafeWork推進強調期間(2023年11月21日～2024年1月31日)の取り組みの一環。期間中は建設現場の集中指導を行った他、全産業から抽出した1万事業場に労働災害防止対策の自主点検を求めました。



死亡9人減の16人、死傷1人増で989人

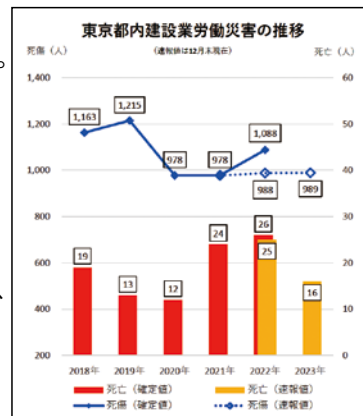
建設業労働災害速報値(12月末現在) 2024年1月

厚生労働省東京労働局がまとめた2023年の労働災害発生状況(12月末現在速報値)によると、建設業では23年の1年間に16人が死亡、989人が死傷しました。前年同期に比べ死亡は9人減で、死傷については前年同期より1人増にとどまっています。数年来、増加傾向にあった建設業の労働災害に歯止めがかかってきたようです。

12月末までに死亡した16人の業種別内訳は土木工事業が3人(1人減)、建築工事業が9人(4人減)、その他の建設業が4人(4人減)で、12月に亡くなった人はいませんでした。事故の型別の状況は「墜落、転落」が5人(9人減)、「高温・低温の物との接触」が3人(2人増)、「おぼれ」が2人(2人増)、「飛来、落下」も2人(前年同期と同数)などとなっています。

一方、12月末までに死傷した989人の業種別内訳は土木工事業が177人(17人増)、建築工事業が622人(17人増)、その他の建設業が190人(33人減)。

事故の型別では「墜落、転落」が310人(9人増)で最も多く、「はさまれ、巻き込まれ」の103人(16人減)、「転倒」の103人(15人減)、「飛来、落下」の103人(26人増)が続いています。



東京労働局長、関東地整局長が戸田建設訪問

2023年12月



厚生労働省東京労働局の美濃芳郎局長(写真左奥)と国土交通省関東地方整備局の藤巻浩之局長(写真左手前)は2023年12月14日、中央区八丁堀にある戸田建設(株)の本社を訪れ、同社の大谷清介代表取締役社長(写真右奥)と建設業の働き方改革や生産性の向上、担い手の確保・育成・定着などについて意見交換しました。4月に始まる時間外労働の上限規制を踏まえ、長時間労働の削減に向けた機運の醸成や官民の連携強化を図るためです。東京労働局の美濃局長は働き方改革を巡る戸田建設の取り組みを「リーディングケースになる」と評価しました。

当日はまず、大谷社長が担い手の確保・育成・定着や現場の4週8閉所、ICTを活用した生産性向上などの取り組みを両局長に説明。具体例として▽研修体系の刷新▽協力会社とのパートナーシップ委員会の設置▽戸田みらい基金による担い手育成▽土木工事の約半数の現場で4週8閉所を実現▽フレックスタイム制の活用▽資材の垂直・水平自動搬送システムなどを挙げました。

また、働き方改革の成果として、2022年度に80時間を超える本社労働者の7割減や有給平均取得率の10.7%増、男性の育児休業取得率100%を達成したことを伝えました。

意見交換では、両局長が戸田みらい基金の趣旨や4週8休を確保する上での課題、外国人材の活用などについて質問。これに対し大谷社長は、戸田みらい基金の目的が「建設業全体への貢献」であり、4週8休を実現するためには協力会社の給与体系の見直しや民間発注者の理解が必要だと訴えました。外国人材については現地法人の労働者を日本で研修していることなどを紹介しました。

「迫る2024年問題」「働き方改革」への対応のため、 建設業の専用相談窓口を設けています

建設業専用の総合相談窓口では、建設業の中小企業・小規模事業者の方専用「働き方改革」に関する様々な課題に対応するための相談・支援を行っています。

業界に経験と知見のある社労士等の労務管理の専門家が、電話またはメールによりご相談をお受けしています。相談無料、秘密厳守です。

- ✓ 建設業の時間外労働の上限規制に対応できるか心配
- ✓ 短時間の発注に対応するため、労働時間を削減したくてもできない
- ✓ 生産性向上のため、助成金を活用したい
- ✓ 36協定の作り方を知りたい・就業規則を見直したい
- ✓ 最低賃金が上がっているが、どう対応したらよいか
- ✓ 従業員が定着せず、人手不足で困っている

相談例



建設業専用総合相談窓口

(委託先：全国社会保険労務士会連合会)

0120-936-778

(受付時間 平日9:00~17:00 ※年末年始を除く)

メールによる相談：下記URLのお申込みフォームよりご利用ください。➡
<https://hatarakikatakaikaku.mhlw.go.jp/consultation/zenkoku/>



さらに、課題解決のための具体的な提案・フォローアップに向けて、専門家が企業へ直接訪問し、コンサルティングを行うことも可能です。

各都道府県に設置された働き方改革推進支援センター（東京都は東京働き方改革推進支援センター）から専門家を派遣し、各地域の実情もふまえたきめ細かい支援を行います。

東京働き方改革推進支援センター（委託先：株式会社タスクールPlus）

電話：0120-232-865 (受付時間 9:00~18:00)

メール：tokyo@task-work.com

FAX：03-6206-7046

HPIはこちら



東京労働局 雇用環境・均等部 企画課

東京都建設系高校生作品コンペティション2023

受賞作品決定のお知らせ

2023年12月7日～9日に開催された同コンペティションにおいて、選考の結果、下記の通りの受賞作品が決まりましたのでお知らせします。

〈東京建設業協会会長賞（1点）〉

作品名	部門	学校名・学年	名前
オーバービューライン	模型	都立蔵前工科高等学校 建築科 3年	芦刈 遥人 菊地 裕介 久保 颯太 但野 颯飛 田村 桂悟 土井 朝陽アラン 廣江 明日香 和賀 誠一



会長賞「オーバービューライン」

〈最優秀賞（6点）〉

作品名	部門	学校名・学年	名前
商店設計 「私の空間 あなたの空間」	製図	都立蔵前工科高等学校 建築科 3年	増田 壮次郎
2階建専用住宅設計図 (C-C断面詳細図)	製図模写	都立蔵前工科高等学校 建築科 2年	小山 典太
3年卒業庭園制作 (パネル展示)	実習	都立農芸高等学校 緑地環境科 3年	緑地環境科 3年
こゆるび	家具	都立工芸高等学校 インテリア科 3年	富田 花梨
Spiral Chandelier	工芸	都立工芸高等学校 定時制課程インテリア科 4年	中村 百花
彩りのある街	ポスター	都立工芸高等学校 定時制課程インテリア科 3年	大根田 素子



作品展示会場の様子

上記の他、優秀賞7点、CCI東京特別賞7点、審査員特別賞5点も選出されました。

2024年2月発行（年3回発行）No.131

Terra

—建設雇用と改善TOKYO—

発行：一般社団法人東京建設業協会
建設労働者確保育成事業推進委員会

取材協力／建通新聞社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1

Tel 03-3552-5656（代表）

URL <https://www.token.or.jp/>

編集後記

元旦の夕刻に石川県で最大震度7を観測した能登半島地震。続々と流れる震度の情報と大津波警報の発令を伝えるアナウンサーの緊迫した声に東日本大震災の記憶がよみがえりました。倒壊した建物、焼失した市街地、住宅をのみ込んだ土砂崩れ…。犠牲者や被災者を思うと胸が締め付けられます。現地では今日も建設業界の人々が懸命の復旧活動に当たっています。一日も早い復興を願ってやみません。